



くれ

1014 号

2025 年 10 月 7 日

郵政産業労働者ユニオン

呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等からこの
情報が閲覧可！



メールはこちら→

郵便減の原因



郵便離れじゃなくって
郵便局に呆れて
郵便が減ってるのかも

ブラックジャックによろしく 佐藤秀峰

地球温暖化による影響か、気候が変動し突然のゲリラ豪雨や大雨に見舞われることが珍しくない環境になりました。
呉市でも大雨による災害「平成30年7月豪雨」が、7年前の2018年に起こりました。
この大雨の中、二輪で配達に出た社員がスリップ事故により頭部を強打

し労災が発生したことを覚えていらっしゃると思います。
先日9月10日(水)は、朝から雨が降っており、7時40分に呉市は道路通行規制情報を雨量超過による通行止めを次の道路に発表しました。
・広島呉道路(仁保〜呉IC)
・呉平谷線(上二河〜此

原)
・一般県道瀬野呉線(栃原〜望地)
・一般県道焼山吉浦線(吉浦〜焼山)
・市道鍋土山手線(呉平谷線 旧道)
この発表により、呉市内バス路線のうち、次の路線の運行を見合わせました。
●広電バス 焼山熊野苗代線
●広電バス・JRバス中国 クレアライン線
●生活バス 呉苗代下条線
(その他のバス路線は、通常運行)
一方呉郵便局は、大雨警報は警戒レベル3相当

との判断で、配達の一時中止・待機等の業務命令はありませんでした。特に焼山方面の配達は、全ての迂回路が行政による通行止めにも関わらず、規制を無視しろという判断だったのでしょうか。全員無事に帰局したから良かったものの、もし焼山に行ったきり道路が寸断、若しくは事故が起きて帰れなかったら会社はどうするつもりだったのでしょうか？ 通行止め無視は、コンプライアンス違反ではないのですか？ 自然災害の危機管理に関して、呉局は人命を軽視しているように思えます。

郵便減仕事増

郵便物が減っていると、一人あたりの配達業務は郵便物減より確実に増えています。

今年の4月からの区画調整で、1区当たりの配達時間が増えたにも関わらず、減区まで行い集配社員の疲労は蓄積する一方です。事故・労災・誤配も一向に減らず、区画調整や減区による影響は無視できません。これ以上の労働強化は無理ではないでしょうか？

時間前着手やサービス残業を野放しにしているのもコンプライアンス違反です。時間前着手(特に土日)があるから成り立っていると言っても過言ではない現状を無視して、仕事量を増やすのは看過できません。

今後の予定

- 10月 7日(火) 17:00～
第2回呉支部執行委員会
支部事務所
- 11月11日(火) 17:00～
第3回呉支部執行委員会
支部事務所